

アスモ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ <http://www.asumo-kaigo.jp/> からご覧になれます。

上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

発行所：在宅介護センター・アスモ
平成20年9月



創刊第36号

〒165-0026
中野区新井1-26-4 オスカーマンション2F

☎ 03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

お母さんの踵(かかと)

お前、お母さんの踵(かかと)を触ってみろ……
どんな感じだ。そうだ、固いだろ。それはお前を
背負ってきた、お母さんの生きた証だ。……



加藤秀視、テレビのドキュメント番組などに幾度となく取り上げられているカリスマ経営者であるが、先日、彼の講演を聞く機会に恵まれた。今年32歳の彼は、一見どこにでもいる礼儀正しい好青年であり青年実業家であるが、実はその経歴は、全身に刺青の入った、元裏社会で生きてきた人物である。幼少の頃、酒乱の父が母に暴力を振るうのを見て育ち、孤独な日々の中、中学3年生で暴走族に入り暴力で人を操り権力を手に入れることが幸せの道と信じ、高校を1年で中退し裏社会へ。20歳で暴走行為の指揮者として逮捕され、翌年再逮捕。そんな自分がいやになり貯金を元手に23歳で総合建設業新明建設を設立。子供の誕生や仲間の死、いくつものつまづきを経て、人を愛することを知り、裏社会と決別し生まれ変わった……。

加藤氏の講演の冒頭、取材を受けたドキュメント番組を視聴した。加藤氏の会社で働く新人の社員。彼は現在、母親と同居しているが、父親(既に他界)が癌で闘病中に、母親が一時、行方を眩ましたことを許すことができないでいた。そのことが原因で、仕事に支障をきたしていると判断した加藤氏は、彼の自宅へと向かう。彼と彼の母親と三人で話し合う中で、彼に投げかけた言葉が、冒頭の「お前、お母さんの踵(かかと)を触ってみろ！」であった。

多くの元不良を雇入れた加藤氏率いる新明建設は、現在公共事業を受注できるまでに社会的な信用も厚くなった。現在は人材派遣会社その他、起業家として複数の会社を経営している。また多くの子供たちが苦しみから解放され、夢を持つような環境を作つていきたいと社会貢献活動にも燃えている。

加藤氏は新人社員に人を許すことの大切さを伝えたかったのではないかと感じた。母を許せないことが、先に進むことを許していないことになるからであろう。
私も人の踵に触れるような人間でありたいと思う。
その人の本質を知り、許すために……



詩のご紹介

武藤 真由美様

お手玉

お手玉は田舎のおばあちゃんに教わりまして
はぎれを使って中に小豆入れてできあがりです

お手玉はいざやってみるとむずかしいです

田舎のおばあちゃん とっても上手にやってみせてくれました

お友達ともやりました

お友達は上手にやります

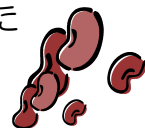
お手玉はいろいろはぎれで作るので楽しかったです

幼稚園のころおばあちゃん家に行っていました

病気をしてから行かなくなりました

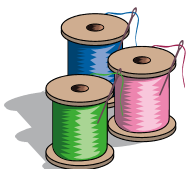
田舎のおばあちゃんはどうしているのかなあ

お友達もどうしているのかなあ



武藤様

素敵な詩をありが
とうございました。





介護保険制度が華々しくスタートした頃、ヘルパーになりたての私は「アスモ」さんに随分お世話になりました。何も分からず周囲の方々にも大変迷惑を掛けながらも、楽しく！鍛えられていく日々。大変でしたが充実していたと、今思えば懐かしきあの頃…。

初めての訪問で出会った方「Mさん」の影響は、今も尚感動を与えて下さるものとして、私の中に大きく残っております。つい最近、書店に並ぶ新刊の文庫を買いました。その本は幕末から維新にかけて活躍された型の史伝です。Mさんのお祖父様に当たる方のお話です。当時、訪問を重ねる中でお祖父様のお話も伺っていましたが、日本史に疎かった私はとにかく身分の高い立派な方で、Mさんはその末裔である。というぐらいにしか感じていませんでした。今ではありえないロングの滞在の中、Mさんはさながら近現代史の先生。私はいつの間にか史実に興味を持つようになりました。様々な出来事が今のこの時代を築いている。一見自分とは何の関係もない過去の史実ですが、実際ここに過去と繋がっている人が存在するのです。なんとなく過去との繋がりを想像できるようになりました。漫然と暮らしている「今」も確実に未来に繋がっていくのです。そう思うと、どうでしょう、怠けるわけにはいきません(笑)

Mさんには色々なことを気づかせていただきました。そして今お別れして何年がたつのでしょうか。お祖父様の史伝を読んでいく中で、昔、Mさんが優しく語って下さったお話が蘇ります。そして本の巻末にはこんな事が書かれていました。「現代は、幕末と同じぐらい価値観が揺らぎ、変化も急速。この流れに個人が抗うのは難しいが、自分の理想を貫き、より良い社会を作ることは可能である…」確かにMさんのお祖父様は志を持って数々の困難を乗り越え、より良い社会を作った方でした。福祉への理解が厳しい今日この頃。ただ憂いているのではなく、より良い方向へ向かっていく！と希望を持ち続ける、ひとり一人の気持ちが大切なのではないでしょうか。

コラム
コラム

暦の年齢に負けず、元気に過ごす4つの秘訣！



① 活性酸素を抑える

体を酸化(さび)させる活性酸素。酸化が広がると病気や、シワ、シミ等の老化につながります。

活性酸素を増やすもの

たばこ・紫外線・加工食品・多量の飲酒
激しい運動・汚染された空気



酸化を食い止めるもの

食事から…ビタミンE、C、ポリフェノール
体内で作られる…グルタチオン、カタラーゼ、SOD

② 運動・睡眠で代謝機能を高める

運動、質の高い睡眠、ストレスのない生活で基礎代謝を高めるDHEAや成長ホルモンの分泌が、促進されます。



③ 血管を若返らせる

栄養や酸素は血液によって細胞へ運ばれ、余分な老廃物を排出し、正しい機能を果たしています。食事は腹八分目、週に1~2回位歩いても効果があります。

④ 前向き思考で若返りのスイッチを入れる

楽しいことを考えたり想像するだけで、気力の向上につながり、上向きのスパイラルに変えられます。